岡山県日中教育交流協議会会報

悠久

第 47 号

奇美博物館（台湾・台南）

本号の内容

① 個人の交流・友好から学園の交流・友好へ、学園の交流・友好から国家の交流・友好へ	学校法人加計学園	理事長・総長	加計孝太郎
② 2017 STUDENT EXCHANGE in 大連	岡山県日中教育交流協議会	会長	岡本啓
③ 大連研修感想（上）	STUDENT EXCHANGE in 大連 2017	参加	生徒
④ 上海市新中高級中学との文化交流	岡山県立倉敷青陵高等学校	教諭	金井庸記

November
2015

題字『悠久』森崎岩之助 揮毫

個人の交流・友好から学園の交流・友好へ、学園の交流・友好から国家の交流・友好へ

学校法人加計学園　理事長・総長
加　計　孝太郎

学校法人加計学園は、昭和三十六年九月に創立者・加計勉によって開設され、翌年四月に岡山理科大学附属高等学校の前身である岡山電機工業高等学校が開校したのが、第一歩でありました。

戦後、焼け野原となった広島の街に立ち、「日本を復興させるには教育しかない」という思いから、自らが掲げた「ひとりひとりの若人が持つ能力を　最大限に引き出し　技術者として　社会人として　社会に貢献できる人材を養成する」という建学の理念を実現すべく教育事業の道をひたすら歩んで行きました。

以来、来たるべき新しい時代と社会に求められている人材とはどのようなものかを絶えず見据えながら、教育施設、環境の拡充、整備に努め、現在、岡山理科大学、同附属高等学校、同中学校、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、岡山理科大学専門学校、玉野総合医療専門学校、御影インターナショナルこども園を擁し、学生生徒への教育指導にあたっております。

その創立者が教育事業の一環として取り組んだものの一つが、海外の大学を始めとする教育機関との教育交流協定を結ぶことでありました。あまりにも熱心に取り組む姿を一時は訝しく思ったこともありましたが、ある日、「私が海外の学校との交流に力を入れるのは、お互いの交流を通して、互いに理解し合うことで少しでも世界平和へ貢献したいからだ。」という言葉を聞き、なるほどと思ったものでした。そして、これは戦争を経験したものでなければ言えない言葉であります。

私が学園運営を創立者から引き継ぎ、教育理念のさらなる実現と共に海外の教育機関と交流にも力を入れているのもそのためであり、現在、十八ヶ国七十一の大学を始めとした教育機関と交流協定を結び教職員はもとより学生生徒の研修等を積極的に行っており、中国における協定校も十四校（大学他）に及んでおります。

また、中国から学園設置校への留学生も卒業生を含めトータルで千二百名を数え、現在も約二百五十名が学んでおります。中国留学生による同窓会も立ち上がり、今年は、中国で七回目の同窓会が開催されました。

このような輪が広がるに連れ、私はある故事を思い出します。それは、「愚公、山を移す」（『列子』湯門篇）であります。

〝愚公という九十歳の老人の家の前に太行山と王屋山という七百里四方もある山があり、出かけるたびに遠回りしなければならなかった。ある時、愚公はその二つの山を他へ動かそうと、土を運び始めた。人々はその行為を嘲笑ったが、愚公は自分ができなくても子孫が引き継げば、いつかは山を移動させることができるだろうと一向に怯むことがなく、その志に天帝（神様）が感じ入り山を移動させ平らにした〟という内容であります。

私どもといたしましては、個人の交流・友好から学園の交流・友好へと発展して来たことによって創立者の初期の目的が達成されているのではないかと思っております。

また、このことはあらゆる分野にも当てはまることではないでしょうか。現在、日中両国の間には、様々な問題が山積しております。これらを解決するのは、もちろん両国の政治家でありますが、それにも増して大切なのは両国の国民がお互いに交流し、理解し合う事であり、私たちひとりひとりがきることから第一歩を歩むことこそが、さらなる日中友好を育てていく原動力となるものと確信致しております。

私もこの愚公の精神を忘れることなく、これからの教育事業と共に日中友好のために微力を捧げたいと願っております。

2017 STUDENT EXCHANGE in 大連
訪中の報告

岡山県日中教育交流協議会
訪問団長　岡　本　　啓

平成二十七年七月二十九日から八月二日まで、四泊五日の日程で実施した、二〇一五日中青年交流事業「STUDENT EXCHANGE in 大連」で高校生十二名と引率者等三名の訪問団が遼寧省大連市等を訪問し、地元高校生等との交流を深めてきたのでその概要を報告します。

Ⅰ　今年度のS／Eの特徴

今年度の日中青年交流事業の特徴を三点あげます。

まず第一点は、戦後七〇年の節目の年の交流であること。日中両国は、首脳会談は行われたもののギクシャクした関係が続いている。そうした中、一人一人が「過去」とどのように向き合うかが問われる、ある種の厳しさが想定される今年、定員を大幅に上回る高校生の応募があり、意欲的な生徒で訪問団が編成された。

第二点は、交流先の変更。三年間相互交流が実現しなかったこともあり、今年度、交流先を変更した。大連市当局のご尽力により、交流にとても熱心な大連教育学院附属高級中学との交流が実現した。

上海から大連へ

第三点は、交流内容の充実。滞在中の三日間をすべてホームステイの受入をしていただき、多くの時間を共有することで、ペアの生徒とその御家族との深い交流の機会となった。相互理解に十分な時間とは言えないが、話題は多岐に及び、日本の文化などを伝える工夫もし、交流を深めることできた。交流会での歓迎、ステージ発表の規模・内容は驚くほど手がかかっていた。

Ⅱ　S／Eで大連（訪中）

一　募集と選考

本年度の募集生徒数は十二名で、生徒負担費用はこれまで同様の三万円とした。

二十五名の応募があり、六月中旬、岡山県生涯学習センターで面接（一般と英語、希望者には中国語も）を実施し、選考委員会において、公私立合わせて十二名（九校）を決定した。

二　事前研修

中国を訪問する高校生たちが、少しでも中国に対する理解を深め、安全で有意義な交流ができるようにと、本年度も二回の事前研修会を開催した。

一回目は、七月上旬に、保護者も参加していただき、結団式を実施するとともに、団員の顔合わせなどを行った。

二回目は、出発が間近に迫った七月下旬、「大連との交流に当たっての学習会」として、中国の基礎知識、訪問先の大連市や旅順にかかわる歴史などを学ぶとともに、交流に際しての留意事項などを確認した。また、「役に立つ中国語ミニレッスン」などの講義を受けた。その後、附属中学での交流会に向けて、その打合せや練習などを行い、出発に向けた気運を高めていった。

見事な民俗楽器演奏

三　大連教育学院附属高級中学での交流等

七月二十九日、保護者等の見送りを受けて、上海に向けて岡山空港を出発した。上海から、大連に向かい、午後、大連に到着。バスで学校へ向かい、盛校長先生の歓迎を受けた後、再びバスで市内を一巡。学校に戻ると、ホームステイの受け入れ家族が次々に生徒を迎えに来てくださり、対面してすぐ、生徒は覚悟を決めて迎えの車に乗り込み、第一日目のホームステイがいきなり始まった。

三十日は、朝から附属中学での交流である。各ホームステイ先からペアの生徒と共に登校し、英語、書道の模擬授業。英語では、大連の紹介、書道では、「篆書」「隷書」「草書」「行書」

「楷書」の五つの書体の書き分けと、竹の絵に挑む。日本の生徒の筆の力をお褒めいただいた。

附属中学の生徒といっしょに近くのレストランで昼食をとった後、いよいよ交流会。

豪華な机椅子を備えた立派な講堂で交流会が始まった。附属中学は、伝統的な中国に伝わる楽器の演奏や舞踊、モダンダンスをしたり、日本の歌を歌うなどして歓迎してくれた。途中で、岡山からの発表があった。日本の少女グループの歌に合わせたダンス、岡山の有名な昔話、桃太郎の映像紙芝居。最後は、岡山の高校生全員がいっしょになって、「世界に一つだけの花」を、歌い踊り、雰囲気を盛り上げた。岡山を理解していただこうという生徒の工夫による一連の出し物であった。また、生徒は、ジェスチャーゲームやアカペラなど予期せぬ企画にも積極的に参加していた。

交流会で日本側の出し物披露

附属中の男性教員四人のコーラスは、日本語の歌も交えて圧巻だったが、何より、生徒の出し物が素晴らしい仕上がりで、感銘を受けた。司会進行を英語と中国語で進めた司会者グループもすばらしいものだった。

その後、生徒たちはペアの生徒とともにホームステイ先に戻り、二日目の中国の家庭生活を味わった。

三十日、前夜の激しい雷雨が上がった朝、生徒たちは、中国の生徒と共にバスに分乗して、旅順方面の視察に出発した。日露戦争の戦跡二百三高地を訪れたり、中国の長い歴史を紹介する旅順博物館を見学した後、大連外国語大学を訪問して、三日目の日程を終えた。生徒は、最後のホームステイの夜を迎えた。

四　上海市内視察

八月一日は、学校に集合した生徒たちは、互いに手を取り、抱き合い、別れを惜しんだ。

大連空港から上海に向かった。上海では、リニアモーターカーの試乗、上海環球金融中心の高層ビルなどを視察し、夕食後には上海雑技団や夜景も楽しんだ。

二日、いよいよ最終日。猛暑の中、豫園、外灘などを見学した後、上海博物館を視察した。昼食後、お土産などの買い物を楽しみ、上海浦東空港へと向かい、予定どおりの飛行機で全員無事に岡山空港に帰ってきた。

STUDENT EXCHANGE　日程　2015

7月29日㈬　初日

出発式　岡山空港　　上海浦東空港　　大連国際空港着
大連教育学院附属高級中学着
大連市内観光　　星海公園など
ホストファミリーと対面　ホームステイ先へ

7月30日㈭　2日目

大連教育学院附属高級中学
　英語の授業体験　書道の授業体験
　昼食会
　交流会
　　中国側プログラム
　　民族楽器演奏、舞踊、劇歌、二胡演奏、扇子舞、
　　現代ダンス、サックス演奏、古詩吟唱など
　　日本側プログラム
　　ダンス、『桃太郎』
　　合同『世界に一つだけの花』
交流会終了後　ホームステイ先へ

7月30日㈭　3日目（附属中学生徒同行）

旅順　203高地訪問　旅順博物館
大連外国語大学日本語学院訪問
学校着　各ホームステイ先へ

8月1日㈯　4日目

大連教育学院附属高級中学へ集合
大連国際空港発　　上海浦東空港着
リニア体験乗車
上海市内見学　　上海環球金融中心など
夕食
上海雑技団鑑賞
錦江上海賓館泊

8月2日㈰　5日目

上海市内見学
　豫園、豫園商場、外灘、上海博物館
　ショッピング（スーパーマーケットなど）
岡山空港着　　解団式

Ⅲ　おわりに

本年度は、大連教育学院附属高級中学という新たな交流校への訪問となった。多くの高校生が夏休みの時間を費やして歓迎会の準備をし、とても高いレベルの舞台発表で歓待してくれた。また、到着直後から三日間のホームステイの受入、旅順訪問にも全員が同行してくださった。生徒相互の交流がかつてないものとなった。座談会等は持てなかったが、三日間、生徒同士様々な深い交流があった。

生徒の感想は、この号と次号に掲載するので、ぜひ御一読願いたい。

若い世代の高校生が実際に外国に出かけ、自分の目で見、人々と触れ合う経験を持つことは、自分の視野を広げ、今後の生き方を考える上で極めて有意義であるといえます。

今、大連の生徒を岡山に迎える準備を進めており、岡山での再会を楽しみにしている。

今後とも、日本と中国の関係改善が進み、高校生の相互交流がいっそう進められるようになることを祈念し、御支援をいただいている一般財団法人岡山県教育職員互助組合と公益財団法人福武教育文化振興財団に感謝して結びとします。

交流会集合写真

2017 STUDENT EXCHANGE in 大連

大連研修感想（上）

坂口　恵
清心女子高等学校3年

今回の研修は私にとって旅行以外の海外経験としては三度目でした。一度目は父の仕事の関係でアメリカのシカゴで四年、二度目は中学の海外研修で二週間オーストラリアで過ごしました。今回初めて英語圏以外の国へ行く機会に恵まれました。

この派遣事業の存在を知ったのは、母が山陽新聞に出ていた応募の記事を渡してくれたからでした。始め、私はこの派遣に対して大変興味を持ちましたが、同時に中国という未知の国に行くことに対してある程度のためらいを感じました。私にとって、欧米以外の文化を持った国に行くのは初めてだったからです。中国の文化は日本と大いに違うでしょうし、その生活習慣や物の考え方の違いが如何ほどのものなのか、それが私にとってどんな困難になりうるのかと不安になりました。また、中国が英語を主要言語とする国でないことも、コミュニケーションを取る上で障害になるのではないかと心配でした。

交流先の大連教育学院附属高校

しかし、異文化に触れることを拒んでいては、国際人として異文化理解を深めることはできません。更に新しい文化、新しい価値観に出会い、自分のなかに取り組んでいくことが、自分の成長につながるのだと考え、研修に参加することを決意しました。

さて、今回の研修は通年と違いホームステイが三日もありました。中国の一般の家庭をみる滅多にない機会なので、その時間を多く与えられたことはとても有難いことです。上記のような不安もありましたが、私は大きな期待を胸にホームステイに臨みました。

研修初日、学校へ迎えに来てくれた私のパートナー、張秋萌ちゃんは私をみとめるなり、駆け寄ってきて〝メグミチャン！〟と声をかけてくれました。その、私に会えてとても嬉しそうな様子から、彼女が私を迎えるのをとても心待ちにしてくれていたことが伝わり、すぐに彼女に親しみを感じました。そして、車に乗り込むなり彼女がすぐさま英語で話しかけてきたことも私を驚かせました。ときどき携帯の翻訳機能を使いながらではありますが、彼女はとても分かりやすい英語でスラスラとしゃべることが出来たのです。私自身はアメリカから帰国してからスピーキング力を低下させてしまっていました。なので、海外経験がないにも拘わらず、私と同程度の英語を話す彼女の努力と積極性に非常に大きな感心と感動を覚えました。彼女が常に私に話しかけようとしてくれるので、私は気まずさを感じることなく、自分からも積極的に話していくことが出来ました。彼女のそうした姿勢が、私に大きな刺激になったのは言うまでもありません。私は彼女との交流の中で、国際語として英語を学び鍛錬することの重要性と、異なる文化背景を持つ者同士で意思疎通し理解し合うことの意義を見出しました。

事前研修

お互いに歩み寄る努力を示せば、文化が違い、英語が母国語でなかったとしても、コミュニケーションを図ることはできるのです。これこそまさに、この研修で私が学んだことです。この経験から、英語力をさらに伸ばし、積極的に世界の人々と相互理解を深めていきたいです。

最後になりましたが、今回この派遣事業に携わった方々、引率してくださった岡本団長、山本先生、添乗員の西上さん、大変お世話になり、ありがとうございました。

難波依代
岡山県立総社高等学校3年

私は母の母国ということもあり、幼い頃から中国とは親しみがありました。大学では中国語を専門に学ぼうか、そう考えていた時期に担任の先生から「これ行ってみれば？」とすすめられたのがSTUDENT EXCHANGE in大連の事業でした。見出しを見てすぐにひかれ、自分にぴったりだと感じ応募しました。

二度の研修会で、いろいろなお話を聞

かせていただいたり、友達もできました。当日までが待ち遠しくて仕方なかったです。

いよいよ出発の日。私は期待と不安を胸にいだいて飛行機に乗りました。

大連に着くとやはり日本とは全くちがう風景が広がっていました。土地の広さや人口の多さに改めて驚きました。そして一番楽しみにしていたホームステイ。ステイ先の家族はとても温かく優しく私を歓迎してくれました。私は言葉が通じないことがとても不安でしたが勇気をふりしぼってすべて中国語で会話しました。わからない単語や聞きとれない文などはお互いに辞書を使ったり紙に書いたりして伝え方を工夫しました。何度繰り返しても嫌な顔一つせず、とても親切に接してくれました。そして私を楽しませてくれようと、いろいろなところに連れていってくれました。初めは緊張していてうまく話せなかったけど日に日に慣れていき、教育や文化の違いやプライベートの話もしました。

あっという間にお別れの日。想像していたよりも寂しさがこみあげてきてとても名残惜しかったです。私は将来必ず中国語が話せるようになってまた会いにくる、と彼女と約束を交わしました。

大連の高校生らと書道体験

大連を去ってからは上海に行きました。大連とはまた少しちがった雰囲気を感じました。上海では雑技団の観賞や博物館の見学など、より深く中国の歴史や文化に触れることができてうれしかったです。

上海から大連へ

今回の研修で私はたくさんのことを学ぶことができました。中国と日本の関係は長年の間良いとは言えませんが、実際現地に行ってみると中国人の方は日本人に対して偏見などは一切なかったように思えます。やはり国や言語がちがっても同じ人間です。コミュニケーションをうまくとることさえできれば何も問題ありません。多くの日本人は中国や中国人に対して悪いイメージを持っているけれどそれは誤解であるということをこれから社会に伝えていきたいです。そしていつの日にか日本と中国の関係が良好になるように何か貢献できるような大人に私はなりたいです。

この心から充実した五日間のできごとは私の人生の中で最も刺激のある最高の経験となりました。絶対に一生忘れません。そして、この研修に関わってくださったすべての人に感謝しています。十一人の仲間がいたからこそめげずに頑張ることができました。出会えたことを素晴らしく思います。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

西田 有希
岡山県立岡山東商業高等学校3年

初めての中国に不安がありましたが、それ以上に多くのことを学び、経験することができとても有意義なものになりました。

たくさんの経験をした中でも特にホームステイが印象に残っています。初日からホームステイで不安しかありませんでした。パートナーに会った時、英語がとても上手で圧倒され、緊張しました。思うように話せなくても笑顔で聞いてくれたり、たくさん話しかけてくれて、私のぎこちない英語にも優しく答えてくれました。ステイ先の家族の皆さんも歓迎してくれて、優しく接してくださいました。中国の遊びを一緒にしたり、お互いの学校のことや普段の生活の話などをして盛り上がりました。二日目の夜は遊園地に行きました。昼とは中国は違って夜は光に包まれていて別世界のようでとても綺麗でした。三日目はレストランで食事をし、遅くまで話をしました。あっという間に別れの時が来て、とても寂しかったです。温かい家族の皆さんのところにホームステイできて本当に良かったです。

ホームステイ家族の出迎え

他にも書道や美術の授業を体験したり、博物館や戦地にも行き、中国の文化に触れることができました。また、戦争について改めて考えることもできました。上海では、豫園に行き日本とは違った庭園を見ることができ、歴史を肌で感じることができました。雑技団は、日本ではありえないようなシーンもあって、想像を超えた素晴らしい演技に目を奪われました。

この五日間で、自分の語学力の無さに痛感しました。これからますますグローバル化が進んでいく中で英語は必要不可欠です。今回のことで、英語をもっと勉強しようと思うきっかけになりました。また、私の中国に対する考え方が大きく変わりました。日中関係の問題や大気汚染など悪いことばかり耳にして、そのイメージが強かったですが、実際に行ってみると、とても優しくて親切な人ばかりでした。良いところがたくさんあることを知ることができました。私と同じようなイメージを持っている人は多いと思います。私が見たことや知ったことを周りの人たちに伝え、中国の良さを知ってもらいたいです。そして、学んだことをこれから先に活かしていきたいです。

中国のお友達との別れ

上海市新中高級中学との文化交流

岡山県高等学校文化連盟
文化交流委員長　金　井　庸　記
（岡山県立倉敷青陵高等学校　コーラス部顧問）

●はじめに

県高等学校文化連盟（以下、県高文連）の国際文化交流事業として、倉敷青陵高等学校コーラス部は、七月から八月にかけて上海市新中高級中学と文化交流を行った。七月中旬に新中高級中学の一行を招聘し、八月上旬に倉敷青陵高校コーラス部は派遣された。招聘時は新中高級中学から十二人の生徒と引率者三人、通訳一人の計十六人が来日し、岡山県からは倉敷青陵高等学校コーラス部生徒十一人と引率者三人、通訳一人の計十五人が訪中した。

交流実施にあたっては、五月下旬に岡山県日中教育交流協議会の松井三平事務局長、県高文連の藤澤薫会長、倉敷青陵高等学校の田中尚校長と私が事前調査団として訪中した。そこで、上海市人民対外友好協会、閘北区政府外事弁公室、閘北区教育局、そして新中高級中学の熱烈な歓迎を受け、交流打ち合わせと施設訪問及び調査を行った。六月に入り、県高文連主催の文化交流結団式、中国語学習会、事前説明会と文化交流事業を始動させた。

●倉敷青陵高校での交流

当初、新中高級中学の一行は七月十六日に来日し、倉敷青陵高校で交流する計画であった。しかしこの日、中国地方直撃の台風の影響で翌十七日の夕刻、一行が岡山空港へ到着することとなった。

よって十八日の午前と夕方、倉敷青陵高校訪問の日程を急遽組み、交流会を行った。午前は、お茶席を準備し、抹茶と和菓子で日本文化を体験していただいた。倉敷青陵高校の池本康彦副校長の茶の講義と作法は好評であった。その後、校内施設とこの日校内で実施した模擬試験を受ける生徒の様子を案内した。部活動体験は夕方実施した。剣道部、弓道部を見学した後、主にバスケットボール部へ参加し、新中高級中学の生徒と倉敷青陵高校の生徒はともに汗を流し、ゲームを楽しみ友好を図った。

茶の作法を習う新中高級中学生徒

●芸術フェスティバルでの演奏

十九日には倉敷市民会館で開催された「高校生芸術フェスティバル2015」にゲスト出演した。新中高級中学は舞踏「幽蘭賦」を見事に披露した。中国舞踏のしなやかで美しい身体表現やこまやかな表情や手先の仕草は今でも鮮明に残る。衣装も艶やかで、その姿から醸し出される清純美から生徒たちも陶然となった。倉敷青陵高校コーラス部は、岡山の祭「うらじゃ踊り」のテーマ曲をピアノと混声合唱で演奏し好評を得た。

新中高級中学による舞踏「幽蘭賦」

●文化施設案内

新中高級中学の一行を旧野崎家住宅、瀬戸大橋、鷲羽山展望台、倉敷美観地区、大原美術館、岡山県立博物館、岡山後楽園へ案内した。野崎家での塩作り体験や大原美術館鑑賞、岡山後楽園散策は歴史と文化を味わわせることができた。

●ホームステイ

新中高級中学の生徒二人ずつがペアになり、倉敷青陵高校コーラス部の生徒の家に二日間宿泊した。新中高級中学の生徒とホストファミリーは、日本語や英語、そして中国語を使って会話を楽しみ、学校の様子や将来の夢を語り合ったようだ。このように言葉を交わそうとしたり、身振り手振りで伝えようとしたりと、お互いに関わり合おうとすることで心の距離は縮まったようだ。また、ロフトや百円均一の店に出かけ、日本の文房具やお菓子を購入するなど、ショッピングを楽しみ、趣味や感性も認め合ったようだ。

岡山後楽園を散策する新中高級中学生徒

旧野崎家住宅で新中高級中学一行と倉敷青陵高校コーラス部

新中高級中学での授業体験

浦東空港に到着した倉敷青陵高校コーラス部

●新中高級中学訪問

倉敷青陵高校コーラス部は、八月七日から四泊五日の日程で上海市新中高級中学を訪問した。七月の倉敷での文化交流によって親しくなった新中高級中学の生徒たちが、浦東空港で出迎えてくれた。生徒たちは互いに再会を喜び合った。新中高級中学では、音楽と歴史の授業体験、手芸の部活動に参加した。音楽の授業は古琴の鑑賞から、そのよさや音色の美しさについて講義を受け、感性を共有した。新中高級中学の生徒の積極的な意見発表や発想の豊かさ、そして濃密な描写は倉敷青陵高校の生徒も刺激を受けていた。その様子は今でも印象に残っている。

交流会の記念撮影

歌声を披露する倉敷青陵高校コーラス部

●新中高級中学での公演

4日目に学校内多目的ホールで生徒会主催の交流会が開催され、そこで互いに音楽発表を行った。新中高級中学の気魄のこもったチャルメラの演奏や舞踊に圧倒された。我々の演奏は、瀧廉太郎「花」、岡山の祭「うらじゃ」、「世界に一つだけの花」など5曲を演奏した。演奏後、新中高級中学の教職員と生徒から賞賛の声を多く頂き、互いの生徒たちは記念撮影を行い、忘れ難いこの日を記録した。

上海環球金融中心展望室で上海の街を背景に

学校法人　加計学園

岡山理科大学附属中学校（中高一貫コース）

ひとりひとりの能力を最大限に引き出し、伸ばすとともに、自ら学び自ら考える人間を育てる。

○ スーパー選抜クラス：難関国公立大学への進学をめざします。
○ 選　　抜クラス：国立大学・私立大学への進学を目指します。

〒700-0005　岡山市北区理大町１－１
岡山理科大学附属中学・高等学校　中高入試広報課
TEL (086)256-8527　FAX (086)256-8526

岡山商科大学孔子学院

中国語講座
2015年度後期　計18回
（2015年9月24日～2月29日）
※途中からの受講可能

特訓コース
新HSK試験５級をめざす
月・水・金曜日　計90回

子供向けコース
毎週土曜日(11：00～12：00)
全15回

出張中国語講座
簡単な日常会話から本格ビジネス中国語まで
対応します。内容は相談に応じて調整いたします。

出張中国文化講座（開講料無料）
岡山県内の小学校、中学校、高校及び公民館を
対象とした出前中国文化講座を開講いたします。

お問い合わせ／お申し込み　岡山商科大学孔子学院　〒700-8601　岡山市北区津島京町２丁目１０－１
TEL 086-252-0642（内線521）　FAX 086-255-6947　http://www.osu.ac.jp/koushi/

学校法人　中国学園

中国学園大学

●現代生活学部人間栄養学科　●子ども学部子ども学科　●国際教養学部国際教養学科
●大学院（現代生活学研究科　子ども学研究科）

中国短期大学

●総合生活学科　●保育学科　●英語コミュニケーション学科
●情報ビジネス学科　●専攻科（介護福祉専攻）

〒701-0197　岡山市北区庭瀬83番地　TEL086-293-1100　FAX086-293-3993
http://www.cjc.ac.jp/　E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

Benesse®

「よく生きる」
を考える。

Yayoi Kusama "Pumpkin" Photo:Shigeo Anzai

株式会社ベネッセホールディングス　http://www.benesse-hd.co.jp/
岡山本社 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17　東京本部 〒163-0416　新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング16F

眼鏡医療技術専門学校 **ワールドオプティカルカレッジ**

今年も全員就職が内定しました！

メガネのスペシャリストを育成する専門学校です

天職が見つかる「学校説明会」

12月12日(土)
1月30日(土)
13：30〜16：30

ご予約は 0120(88)8233へ

高校生も社会人の方も、是非私たちの学校を見に来て下さい

資料は無料配布　随時見学できます ◀ 本校独自の特待生制度　奨学金制度があります ▶ 高校卒業生コース（3年制）　拓大大卒コース（2年制）

〒703-8282岡山市中区平井6-6-11　http://www.woc.ac.jp　E-mail woc@woc.ac.jp

中国語を話そう！

入門、初級、中級、上級、レベルに合わせて学びます。
見学歓迎！ご一報ください。

グループレッスン、個人レッスンのご相談にも応じます。どうぞお気軽にお問い合わせください。

<費　用> 入学金…3,150円（消費税込）
☆継続者は免除☆
受講料…31,500円（消費税込）／全24回
教材費…実費（2,000円〜3,000円程度）

<申込方法> 申込書と、受講費用を事務局へご持参またはご送付下さい。
費用は前納にて一括納入を原則とします。

《問合せ先》
岡山中国語センター（岡山市日中友好協会内）
〒700-0902　岡山市北区錦町5-15　南田辺ビル2階　TEL（086)225-5068
E-mail oknittyu@yahoo.co.jp　http://www.oka-rizhongyouxie.jp/

おかげさまで26周年！

アジア・コミュニケーションズはあなたのツアーデスク!

○中国東方航空で上海へ！上海経由で中国・世界各地へ！
○大韓航空で韓国ソウルへ！、仁川空港経由で中国各地へ！
○お得なパッケージツアー（上海・台北・大連・青島など）
○特徴あるこだわりのツアー
中国、ミャンマー、ラオス、ベトナムなど
皆様のご要望に沿った旅行企画をいたします。
安心の添乗員同行ツアーです
○日中教育交流のサポート
企画から旅行実施、添乗までサポートします。

○お気軽にお問合せ下さい

アジコム→ツアー

ASIA COM **株式会社アジア・コミュニケーションズ**
観光庁長官登録旅行業第1816号　JATA正会員　IATA公認
岡山市北区錦町5-15　南田辺ビル4F（〒700-0902）
TEL（086）231-0334　FAX（086）222-7732
http://www.asicom.co.jp　Eメール info@asicom.co.jp

平成27年度岡山県日中教育交流協議会役員名簿

役職	氏名	所属
参与	中島　博	岡山県経済団体連絡協議会 座長
	岡崎　彬	岡山県商工会議所連合会 会長
	加計　孝太郎	学校法人加計学園 理事長
	片山　浩子	NPO法人岡山市日中友好協会 会長
	末光　茂	社会福祉法人旭川荘 理事長
顧問	竹井　千庫	岡山県教育委員会 教育長
	福武　純子	公益財団法人福武教育文化振興財団 理事長
特別顧問	森崎　岩之助	元岡山県日中教育交流協議会 会長
	黒瀬　定生	岡山県日中懇話会 会長
	岡田　浩明	岡山理容美容学園 理事長
	門野　八洲雄	公益財団法人日本教育公務員 弘済会岡山支部　支部長
会長	岡本　啓	岡山県生涯学習センター 所長
副会長	井上　正義	岡山県都市教育長協議会 会長
	森　靖喜	岡山県私学協会 会長
	曽田　佳代子	岡山大学教師教育開発センター 特任教授

役職	氏名	所属
理事	中村　明雄	岡山県教育庁義務教育課 課長
	近藤　治	岡山県教育庁高校教育課 課長
	屋敷　欣一	岡山県町村教育長会 代表
	土屋　隆士	岡山県PTA連合会 会長
	小川　浩基	岡山県高等学校PTA連合会 会長
	松沢　克彦	岡山県高等学校長協会 会長
	小田　幸伸	岡山県特別支援学校長会 会長
	片山　安基夫	岡山県中学校長会 会長
	坂根　清貴	岡山県小学校長会 会長
	藤澤　薫	岡山県高等学校文化連盟 会長
	鳥居　恭治	岡山県国際理解教育研究会 会長
	大川　泰栄	美作市教育委員会 教育長
（事務局長）	松井　三平	NPO法人岡山市日中友好協会 専務理事
監事	大橋　典晶	中国学園大学 教授
	赤松　康弘	公益財団法人日本教育公務員 弘済会岡山支部　参事

日中交流

岡山県日中教育交流協議会

岡山県日中教育交流協議会　会報　『悠久』第47号

発　行：平成27年11月

発行者：岡山県日中教育交流協議会　編集委員会

〒700－0902　岡山市北区錦町５－15　南田辺ビル２階

TEL（086）225－5083　FAX（086）225－5041

印刷所：旭総合印刷株式会社